

小規模企業景気動向調査

[平成16年8月期調査]

小売業は改善、建設業は低迷の小規模景況

平成16年9月10日
全国商工会連合会

<調査概要>

調査対象：全国約300商工会の経営指導員

調査時点：平成16年8月末

調査方法：対象商工会経営指導員による調査票への選択記入式

<産業全体>

8月の小規模企業景気動向調査によると、産業全体のD.I.(景気動向指数・前年同月比)は、売上額がマイナス10.5(前月比プラス1.3ポイント)、採算がマイナス16.9(同プラス1.8ポイント)、資金繰りがマイナス17.9(同プラス1.1ポイント)、業況がマイナス19.3(同マイナス0.4ポイント)となった。製造業は、一部の業種で回復が見られるものの、ほぼ横這いとなった。建設業は、引き続き公共工事の縮小により低迷という回答が多く、業況は悪化している。小売業は前月に引き続き夏物商品が好調、サービス業は業種間で明暗が分かれた。今月期は、改善項目と悪化項目が混在しており、本格的な景気回復にはまだ至っていないという調査結果となった。

<製造業>

製造業については、売上額がプラス8.5(前月比マイナス2.2ポイント)、採算がマイナス2.9(同プラス0.4ポイント)、資金繰りがマイナス5.4(同マイナス1.6ポイント)、業況がマイナス0.3(同マイナス0.3ポイント)となった。自動車関連、機械金属加工業を中心に受注量は増加しているとの回答が多く見られたものの、単価引き下げ、納期の短期化により経営環境は悪化しているという回答が多く、前月とほぼ横這いの結果となった。

<建設業>

建設業については、完成工事額がマイナス40.3(前月比マイナス2.6ポイント)、採算がマイナス43.6(同プラス1.2ポイント)、資金繰りがマイナス41.9(同プラス2.4ポイント)、業況がマイナス49.2(同マイナス3.9ポイント)となった。一部の地域では、災害復旧工事が活発に行われているが、公共工事の減少及び競争激化により状況の厳しさは変わらないという回答が多く、完成工事額及び業況の項目で悪化した。

<小売業>

小売業については、売上額が0.0(前月比プラス8.2ポイント)、採算がマイナス7.7(同プラス5.1ポイント)、資金繰りがマイナス11.4(同プラス5.3ポイント)、業況がマイナス11.5(同プラス5.3ポイント)となった。ディスカウントストア等の影響を受け、来客数の減少、客単価の下落が進んでいるという回答が多く見られたものの、猛暑により、飲料関係、エアコン等が好調という回答が多く、前月に引き続き全ての項目で改善した。

<サービス業>

サービス業については、売上額がマイナス10.2(前月比プラス1.7ポイント)、採算がマイナス13.5(同プラス0.2ポイント)、資金繰りがマイナス12.9(同マイナス1.4ポイント)、業況がマイナス16.0(同マイナス2.3ポイント)となった。旅館業では好天気が続いたことにより観光客が増加したという回答が見られたが、洗濯業、理美容業は、来客数の減少、顧客の低価格志向により厳しい状況が続いているという回答が多く見られ、業況及び資金繰りの項目で悪化した。

業種	産業全体			製造業			建設業		
	7月	8月	前月比	7月	8月	前月比	7月	8月	前月比
売上額	11.8	10.5	1.3	10.7	8.5	2.2	37.7	40.3	2.6
採算	18.7	16.9	1.8	3.3	2.9	0.4	44.8	43.6	1.2
資金繰り	19.0	17.9	1.1	3.8	5.4	1.6	44.3	41.9	2.4
業況	18.9	19.3	0.4	0.0	0.3	0.3	45.3	49.2	3.9

業種	小売業			サービス業		
	7月	8月	前月比	7月	8月	前月比
売上額	8.2	0.0	8.2	11.9	10.2	1.7
採算	12.8	7.7	5.1	13.7	13.5	0.2
資金繰り	16.7	11.4	5.3	11.5	12.9	1.4
業況	16.8	11.5	5.3	13.7	16.0	2.3

注)D.I.(景気動向指数)は各調査項目について、増加(好転)企業割合から減少(悪化)企業割合を差し引いた値を示す。

問い合わせ先：振興部 振興課 渡部 TEL：03-3503-1256(直通)

E-mail: ml-sinkou@shokokai.or.jp